

第9回 天野フォーラム

11 / 20

fri.

13:00 – 17:00

(受付開始12:00~)

知の交差点 ～ 工業技術の挑戦者たち ～

会場：ANAクラウンプラザホテル浜松
(旧：ホテルクラウンパレス浜松)
4階 大宴会場「芙蓉の間」



浜松ホトニクス株式会社
執行役員 中央研究所 所長

豊田 晴義
とよだ はるよし

基調講演

"Photon is our business"

浜松ホトニクスにおける光の可能性への挑戦

2026年は、高柳健次郎先生が浜松の地で、世界初の電子式テレビジョンを発明されて100周年となります。高柳先生が浜松に残した真空管技術を基盤にして、1953年に創業した浜松テレビ株式会社(現・浜松ホトニクス)は、「光の可能性の探求」を通して、さまざまな光デバイスを世の中に送り出してきました。

ノーベル賞を支えた光技術から、医療・バイオ分野、そしてレーザーフュージョンや量子の分野まで、幅広く社会に広がりつつある光技術をご紹介します。

プログラム

芙蓉の間C(講演会場)・芙蓉の間A(ポスター発表)・芙蓉の間B(軽食/交流)を並行運営

時間	芙蓉の間C(講演会場)	芙蓉の間A(発表会場)
12:00-	受付開始	
13:00-13:10	開会	ポスター展示開始／軽食サービス開始
13:10-13:25	発表者スライドショー / (1枚×46名)	—
13:25-14:55	(自由に移動可能)	ポスターセッション (グループ別コアタイム) Aグループ 13:25-13:55 (No.①④⑦...) Bグループ 13:55-14:25 (No.②⑤⑧...) Cグループ 14:25-14:55 (No.③⑥⑨...)
14:55-15:00	着席準備	引き続き展示・軽食
15:00-16:00	基調講演 / 豊田晴義氏 (浜松ホトニクス)	展示継続・軽食・サロン交流
16:00-16:50	ポスター賞発表・ / フリー交流	自由閲覧・発表者との対話 / 軽食・サロン交流
16:50-17:00	閉会	—



参加無料・事前登録制 (定員：200名)

申込・詳細 参加申込サイト・募集開始日は、当財団ホームページ等で改めてご案内いたします。

お問い合わせ 公益財団法人 天野工業技術研究所 TEL：053-523-1171 email：info@zai-amano.or.jp

※ プログラムの内容・発表者は変更となる場合があります。
開催中止・変更の際は本Webサイトおよびご登録のメールアドレス宛にお知らせします。

ポスターセッション

ポスター発表 全 46 件

NO 1 ~ NO 27

各グループコアタイム 30 分は発表のため在席
コアタイム外の 60 分は発表・聴講自由時間

A 13:25-13:55

① ④ ⑦ ⑩ ⑬ ⑯ ⑲ ⑳ ㉔ ㉘ ㉚ ㉜ ㉞ ㉟

B 13:55-14:25

② ⑤ ⑧ ⑪ ⑭ ⑰ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉕ ㉖ ㉗ ㉙ ㉛

C 14:25-14:55

③ ⑥ ⑨ ⑫ ⑮ ⑱ ㉑ ㉒ ㉓ ㉕ ㉖ ㉗ ㉙ ㉛ ㉝ ㉞

NO	研究テーマ	氏名	所属
①	開殻・閉殻分子固溶化による新規有機半導体デバイスの開発	横森創	茨城大学 基礎自然科学野 助教
②	ポリオキシメタレートと白金多核錯体による混合原子価三次元集積体の合成と電子物性開拓	植村一広	岐阜大学 工学部 教授
③	リグノセルロースのバイオマス変換反応触媒の創出	関根良博	熊本大学 大学院先端科学研究部 准教授
④	高分子およびカーボンナノチューブに対するアルカン混合液からの選択的吸蔵現象	千葉文野	慶應義塾大学 理工学部 専任講師
⑤	バイオマス資源のアップグレード材料化	小関良卓	県立広島大学 生物資源科学部 准教授
⑥	持続可能性に寄与する吸着材料の開発	平尾岳大	広島大学 大学院 先進理工系科学研究科 准教授
⑦	配位認識空間をもつインプリント触媒の開発	中村貴志	筑波大学 数理物質系 教授
⑧	Pickeringエマルションで反応場を区画化する触媒反応の新設計戦略：同一酵素による両エナンチオマーの作り分け	鹿又喬平	産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門 主任研究員
⑨	修飾核酸塩基-金属イオン相互作用を介して集合するメタロDNAナノチューブの創製	竹澤悠典	芝浦工業大学 工学部 准教授
⑩	未培養微生物の培養を実現するマメ類・ナッツ類由来増殖促進物質の解明ならびに未培養微生物単離培養法の開発	高屋朋彰	小山工業高等専門学校 准教授
⑪	環境発電技術に向けたプリンタブル熱電変換材料の開発	村田理尚	大阪工業大学 教授
⑫	メチル基終端ゲルマニウム層状半導体のマイクロスケール光電特性の解明	久保理	岐阜大学 工学部 教授
⑬	微生物生産ポリマー材料のフォトンアップコンバージョン機能化技術の開発	入谷康平	東京工科大学 講師
⑭	安定な開殻電子状態化学種を活用した近赤外応答色素材料の開発	吾郷友宏	兵庫県立大学 大学院 理学研究科 教授
⑮	速度論的アプローチに基づいた流通型光触媒反応系による水素製造	長川遥輝	茨城大学 学術研究院応用理工学野 助教
⑯	機械学習による広域大気汚染予報システムの開発	松本正和	岡山大学 異分野基礎科学研究所 准教授
⑰	極低温環境下における超電導非接触給電システム向け軟磁性材料の磁気特性評価	井上良太	岡山大学 学術研究院 環境生命自然科学学域 助教
⑱	ラージエディシミュレーションを用いたスキャニングドップラーライダーによる風況計測技術の高精度化	GoitJay Prakash	近畿大学 工学部 講師
⑲	減圧下液体窒素温度(63 K)を目指す鉄系高温超伝導体の探索	神原陽一	慶應義塾大学 理工学部 教授
㉑	パルス放電プラズマを用いた水からの水素生成に対する電極配置等の各種パラメータの影響	山下智彦	香川高等専門学校 講師
㉒	水処理膜の3Dプリンティングに向けた光励起相分離反応制御法の開拓	山村寛	中央大学 社会理工学部 教授
㉓	「グリセロール バイオリファイナリー」への活用に向けたC1酵母のグリセロール応答型有用タンパク質生産系の開発	中川智行	岐阜大学 応用生物科学部 教授
㉔	衝突噴流による融解強制対流とカーボンナノチューブ分散系を用いる高速潜熱蓄熱技術開発	森田慎一	北見工業大学 工学部 教授
㉕	天然バインダー系固体高分子電解質における充填剤の分散性の調査	バダリティジ-ワ クマル	北見工業大学 工学部 助教
㉖	「プロトン・水分子の制御」を軸とした窒素循環のための脱窒用電気化学触媒の開発	下山雄人	東京都立大学 都市環境科学研究科 助教
㉗	セレン薄膜を用いた軽くて薄い高効率照明発電デバイスの研究開発	小林大造	立命館大学 理工学部 教授
㉘	反応分子動力学法を用いた水素生成と分離を同時に行うグラフェン膜の開発	永島浩樹	琉球大学 助教

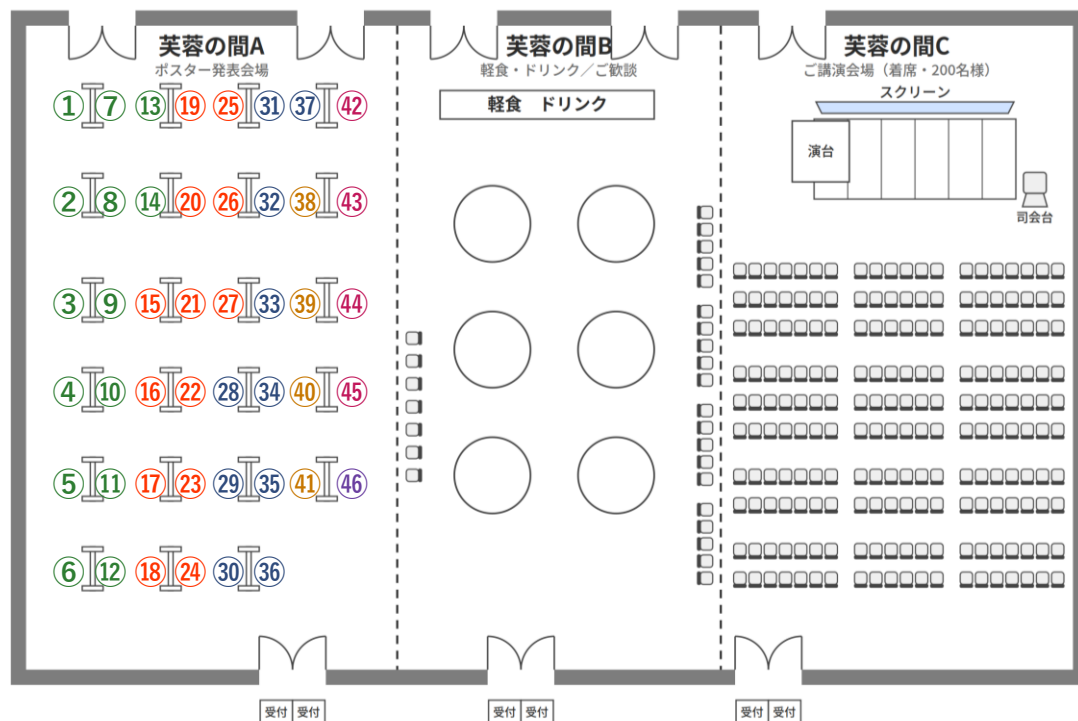
NO 28 ～ NO 46

NO	研究テーマ	氏名	所属
28	コンクリート構造物の打音検査用ロボットの開発および実装	李春鶴	宮崎大学 准教授
29	可変剛性と両側駆動を可能とする圧電アクチュエータのための拮抗駆動型変位拡大機構の開発	舩屋賢	宮崎大学 工学教育研究部 准教授
30	蛍光分子ローターを用いた非ニュートン流体の不安定挙動に起因する液体粘度変化の検知技術開発	市川賀康	慶應義塾大学 大学院 理工学研究科 特任助教
31	把持物体加工情報の抽出と再現に向けた対向型パラレルリンクハンドの開発	桑原央明	芝浦工業大学 システム理工学部 准教授
32	デュアルAEセンシングによる小型工作機械のスマート状態監視技術の開発	長谷亜蘭	神奈川大学 工学部 教授
33	低レイノルズ数域で飛行する超小型航空機の非定常空力性能向上に向けた薄翼の空力特性解明	佐々木大輔	大阪公立大学 大学院工学研究科 教授
34	遅れ破壊の予測に向けた粒界空孔濃度と強度の時間発展評価	松本龍介	大阪大学 大学院 工学研究科 教授
35	SLT法 + デジタルツインによる新しい超高温高速加熱疲労試験を実現	大久保友雅	東京工科大学 工学部 教授
36	撃力を用いた粉体粒子輸送技術の開発	小林和也	日本工業大学 准教授
37	固体ロケット推力制御のためのジメチルエーテルを空圧源とするジェル状推進薬供給装置の開発	山本洋司	北九州工業高等専門学校 生産デザイン工学科 教授
38	家庭・施設内における転倒予見を実現する犬型見守り支援ロボットの開発	川合勇輔	一関工業高等専門学校 講師
39	高電子移動度トランジスタ応用を目指した高熱伝導率基板上への酸化ガリウム薄膜の結晶成長技術に関する研究	小山政俊	大阪工業大学 工学部 准教授
40	社会的孤立の解消を目指した AI チャットシステムの開発	松本和幸	徳島大学 大学院 社会産業理工学研究部 准教授
41	ブロックチェーン技術に基づいたポテンシャルルーティングに向けた攻撃検知・防御	久世尚美	和歌山大学 システム工学部 講師
42	SAFB顆粒形成阻害を標的とした新規作用機序を介した温熱増感剤の開発	渡邊和則	岡山大学 学術研究院 ヘルスシステム統合科学学域 准教授
43	低温プラズマによる遺伝子発現の制御を介した細胞機能発現に関する基盤的研究	大塚智裕	岐阜薬科大学 薬学部 助教
44	歯科接着の分子論的起源に関する計算化学的探究	住谷陽輔	山口大学 大学院 創成科学研究科 助教
45	3Dバイオプリントのための単分散ゼラチン微粒子作製と細胞培養の実証	佐々木直樹	立教大学 理学部 教授
46	生産プロセスの強靱化を目指したプロセスダイナミクスと非線形性に対応できる異常検知手法の開発	藤原幸一	北海道大学 電子科学研究所 教授

ポスター配置

芙蓉の間 A — 掲示板23台
表裏あわせて46テーマ

- ①～⑭：化学、生物
 ⑮～⑲：環境、エネルギー
 ⑳～㉓：機械、ロボット
 ㉔～㉗：電気・電子、情報
 ㉘～㉚：医工学、農薬工学
 ㉛：生産工学、管理工学



開催趣旨

ABOUT THE FORUM

公益財団法人天野工業技術研究所は、設立者・天野修一の「工業技術の向上」という理念のもと、機械・精密機械、電気・電子材料、化学・環境・エネルギーの各分野において、全国の大学・高等専門学校の研究者を対象とした研究助成事業を行ってまいりました。

「天野フォーラム 2026」は、2024年度(前期)研究助成金採択者が一堂に会し、ポスター発表を通じて研究成果を発信するとともに、企業関係者や一般の方々との交流を通じて、分野を超えた新たな連携の種を生み出すことを目的として開催いたします。

従来の学会形式とは異なり、軽食やドリンクを楽しみながら自由に交流できるサロンのような空間をつくり、基調講演も組み合わせた開かれたフォーラムを目指します。

会場

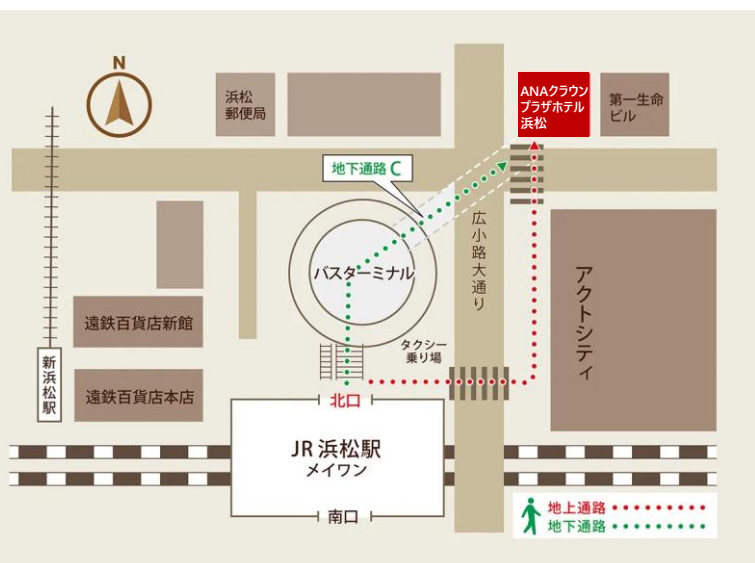
VENUE & ACCESS

ANAクラウンプラザホテル浜松（旧：ホテルクラウンパレス浜松）

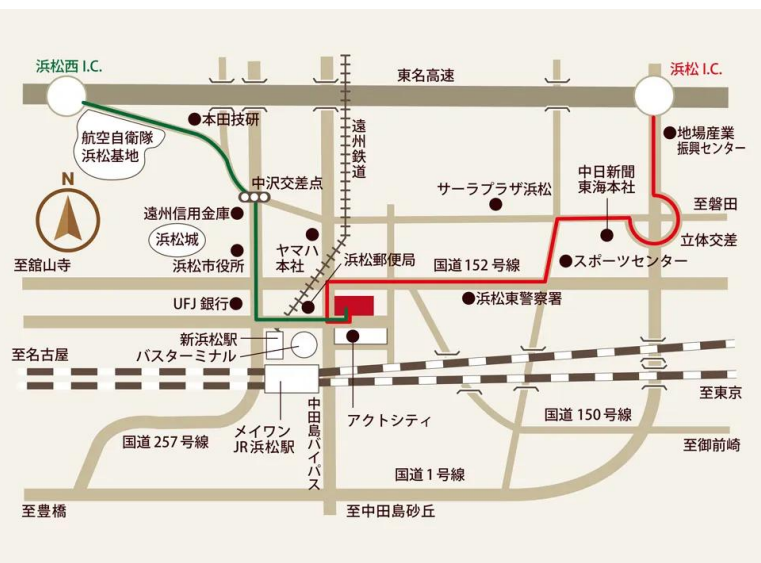
〒430-8511 静岡県浜松市中央区板屋町110-17 TEL 053-452-5111

4階 大宴会場「芙蓉の間」A・B・C

電車でお越しの場合



お車でお越しの場合



- ・JR線浜松駅下車 徒歩3分
- ・遠州鉄道新浜松駅下車 徒歩5分

東名高速道路浜松インター、浜松西インターより車で30分

主催 公益財団法人 天野工業技術研究所

参加申込 参加申込サイト・募集開始日は、当財団ホームページ等で改めてご案内いたします。

お問い合わせ TEL : 053-523-1171 email : info@zai-amano.or.jp